

## Press Release

(行事・催し物)

件名	美唄市医師会井門明会長「タバコフリー社会デザイン賞」受賞にあたり市長表敬	
実施日	5月31日(水)	
タイムスケジュール(詳細に記載願います)	日 時	内 容
	5月31日(水) 13時00分～ 13時30分	「タバコフリー社会デザイン賞」 受賞報告
	月 日 ( ) 時 分～ 時 分	
	月 日 ( ) 時 分～ 時 分	
場 所	市役所2階 市長応接室	
主(共)催		
開催の趣旨	美唄市医師会会長井門明会長が、5月27日開催されるタバコフリーサミット2017・東京において「タバコフリー社会デザイン賞」を受賞することとなり、その受賞報告のため市長を表敬されます。	
内 容	タバコフリーサミット2017は、厚生労働省及び東京都医師会、日本対がん協会が主催で、未来を担う子どもたちをタバコの害から守る「タバコフリー(たばこの被害のない)社会」を目指して開催され、5月27日(土)に東京で開催されます。この度、「タバコフリー日本賞」「タバコフリー社会デザイン賞」が創設され、「タバコフリー社会デザイン賞」を美唄市医師会井門明会長が受賞されることとなりました。	
参加者	美唄市医師会会長井門明会長 ・ 美唄市長	
参加人数		
備考		
担当課	健康推進課健康推進係	担当 望月
	電話 0126-62-1173	(内線 )

# TobaccoFreeSummit

## art 1 TOKYO 2017 5/27 (土)

WEBで参加登録。  
**入場無料**

午前10時開演  
会場：東京都医師会館 (御茶ノ水)

●主催：厚生労働省、東京都医師会、日本対がん協会

### 第17回全国禁煙推進研究会



○後援 (順不同・予定)：東京都福祉保健局、健康日本21推進全国連絡協議会、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会、たばこ健康問題NGO協議会、日本禁煙推進医師歯科医師連盟、日本禁煙学会、禁煙推進学術ネットワーク、国際対がん連合 (IUCC) 日本委員会、全国がん患者団体連合会、がん患者団体支援機構、日本肺がん患者連絡会、日本ヘルスケア歯科学会、タバコ問題首都圏協議会、他

#### Part 1 : Program

- 10:00-10:15 挨拶：厚生労働大臣 / 尾崎治夫・東京都医師会長 / 東京都福祉保健局長
- 10:15-10:30 中山健史氏・タバコフリー日本賞 (エビデンスによる禁煙推進に功労のあった個人・団体)  
プレゼンター：富永祐民 (全国禁煙推進研究会 初代代表世話人・愛知県がんセンター名誉総長)
- 10:30-11:50 シンポジウム：「タバコフリーオリンピックをめざして。」  
座長・今村聡 (日本医師会副会長)  
基調講演：「受動喫煙防止対策の徹底について」正林督章 (厚生労働省健康局健康課課長)  
討論：「国際水準の政策実現に向けて～日本の課題と期待～」  
尾崎治夫 (東京都医師会長)、正林督章 (厚生労働省健康局健康課課長)、  
宋美玄 (産婦人科医、医学博士)、野田哲生 (がん研究会がん研究所所長、IUCC 日本委員会委員長)、  
長谷川一男 (日本肺がん患者連絡会代表) ※ 駒崎弘樹 (NPO 法人フローレンス代表 - ビデオ出演)
- 11:50-12:00 次期大会へのバトン引き継ぎ・閉会挨拶  
(12:00-1:00 休憩)

art 2 午後1時より  
東京都医師会主催  
「東京の空気が一番、おいしくなる日。」



参加登録はWEBで

[www.tobaccofreesummit.tokyo](http://www.tobaccofreesummit.tokyo)

お問い合わせ info@tobaccofreesummit.tokyo / タバコフリーサミット事務局 TEL 03-5530-9025 (平日 10:00~17:00)



TobaccoFree chronicle 展

(ロビー展示)

# TobaccoFreeSummit

## art 2 TOKYO 2017 5/27 (土)

WEBで参加登録。  
**入場無料**

午後1時開演  
会場：東京都医師会館 (御茶ノ水)

●主催：東京都医師会

### 東京の空気が一番、おいしくなる日。



●共催：日本対がん協会、タバコ問題首都圏協議会 (MASH)、東京 / 日本禁煙推進研究会  
○後援 (順不同・予定)：スマートライフプロジェクト (厚生労働省)、東京都福祉保健局、健康日本21推進全国連絡協議会、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会、たばこ健康問題NGO協議会、日本禁煙推進医師歯科医師連盟、日本禁煙学会、禁煙推進学術ネットワーク、国際対がん連合 (IUCC) 日本委員会、全国がん患者団体連合会、がん患者団体支援機構、日本肺がん患者連絡会、日本ヘルスケア歯科学会、他

#### Part 2 : Program

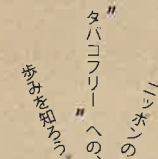
- 13:00-13:20 開会宣言：尾崎治夫・東京都医師会長  
挨拶：垣添忠生・日本対がん協会会長、小池百合子・東京都知事 (予定)
- 13:20-13:30 ビデオメッセージ：WHO 世界禁煙デー 2017 (グローバルテーマ「タバコはすべての人をおびやかす」)
- 13:30-14:00 授賞式：タバコフリー社会賞 (グラスルーツによる禁煙推進に功労のあった個人・団体)  
プレゼンター：大和浩 (産業医科大学)
- 14:10-15:10 タバコ会社の未来型マーケティング戦略：デバイス・チェンジ 座長・望月友美子 (日本対がん協会)  
榊田尚樹 (国立保健医療科学院)、岡本光樹 (岡本総合法律事務所)、野村英樹 (金沢大学)
- 15:10-16:10 喫煙者への未来型アプローチ大作戦：禁煙支援の新たな潮流 座長・蓮沼剛 (東京都医師会)  
北田雅子 (札幌学院大学)、豊田剛一郎 (株式会社メドレー)、  
佐竹晃太 (日本赤十字社医療センター、株式会社キュア・アップ)
- 16:20-17:20 繋がりがつくりだす「タバコのない社会」：「地域」×「健康」  
座長・小野崎耕平 (日本医療政策機構)  
荒井敏 (ちょうふタバコ対策ネットワーク)、金森晶作 (ほこだて未来大学)  
村松弘康 (東京 / 日本禁煙推進研究会)
- 17:20-17:55 協働でつくりだす「タバコのない未来」：共通のビジョンに向かって  
座長・中久木一乗 (タバコ問題首都圏協議会)
- 17:55-18:00 閉会宣言：尾崎治夫・東京都医師会長



参加登録はWEBで

[www.tobaccofreesummit.tokyo](http://www.tobaccofreesummit.tokyo)

お問い合わせ info@tobaccofreesummit.tokyo / タバコフリーサミット事務局 TEL 03-5530-9025 (平日 10:00~17:00)



TobaccoFree chronicle 展

(ロビー展示)

## タバコフリーサミット 2017・東京における二つの賞の創設について (2017/05/18)

タバコフリーサミット 2017 大会長 尾崎治夫 (東京都医師会長)

同副大会長 蓮沼 剛 (東京都医師会理事)

同実行委員長 望月友美子 (日本対がん協会参事)

いま、ここ東京で、タバコフリーサミット 2017 を開催する意義は、東京都医師会をはじめとする多くの関係団体や個人のイニシアチブが立ち上がり、未来を担う子どもたちをタバコの害から守る「タバコフリー (たばこの被害のない) 社会」を目指すことにあります。そのために車の両輪として必要なエビデンスとグラスルーツによる禁煙推進に功労のあった個人・団体を対象に二つの賞を設け、生命を守る政策実現の日まで、タバコフリー活動を推進していきます。

### 平山雄博士の業績を記念する「タバコフリー日本賞」

受賞者：<sup>かたの だ こうた</sup>片野田耕太 (かたの だ こうた)・国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部部長

国立がんセンター疫学部長・平山雄博士は、健康政策の礎となるエビデンスを生み出す専門家の役割とその情報を武器として使いこなす市民の力とを信じ、多彩な研究成果と活動主体を生み出し、我が国のたばこ対策に大いに貢献しました。特に、受動喫煙と肺がんのリスクに関する研究は国際的な評価も高く、世界の受動喫煙研究の発展と規制政策の端緒となりました。

受賞者片野田耕太氏は疫学者として、我が国のがんの動向を分析した「がんの統計」を取りまとめ、喫煙や受動喫煙による超過死亡数の試算や、「喫煙と健康 喫煙と健康問題に関する検討委員会報告書」第4版の編纂など、タバコフリー国家のための政策立案に資する重要な業績を著しました。平山氏の業績と信念を継承する専門家としてタバコフリー日本の実現のため、片野田氏のさらなる活躍を祈念し、タバコフリーサミット 2017 実行委員会は「タバコフリー日本賞」を創設し、ここに授与します。

### 繁田正子医師の理念を記念する「タバコフリー社会デザイン賞」

受賞者：<sup>い どあきら</sup>井門明・北海道美唄市医師会長

京都禁煙推進研究会・繁田正子医師は、地域立脚のグラスルーツ活動こそがタバコフリー社会の実現に必要であることから、「Act locally! Think globally! Move on nationally!」をスローガンに、既存の枠組みを超えた運動体として各地の禁煙推進団体の緩やかなネットワーク化を構想し、2015年に「タバコフリーキャラバン in 国会」を実行しました。志半ばで病に倒れたが、氏のビジョンはその後も地域を超えた交流の中に生きています。

北海道美唄市の受動喫煙防止条例の実現は、井門明美唄市医師会長のイニシアチブとともに行政や市民やメディアによる協働、そして全国の禁煙推進団体や専門家による支援と連携が次世代を守る政策として結実したものです。繁田氏の情熱と理念を継承してタバコフリー社会をデザインする活動が美唄市からさらに全国に発展することを祈念し、タバコフリーサミット 2017 実行委員会は「タバコフリー社会デザイン賞」を創設し、ここに授与します。